

令和5年度外部評価報告書

令和 7(2025)年 3 月
十文字学園女子大学

はじめに

十文字学園女子大学では、中期目標・中期計画及び年度計画を策定し、これを自己点検・評価の基準として、毎年自己点検・評価を行うこととしています。この点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、大学評価ならびに高等教育の在り方について高い見識をお持ちの産官民学各分野の有識者に外部評価委員へご就任いただき、本学の教育研究及び社会貢献活動全般への助言をいただいております。

令和6年度は、一部学科で定員を変更し、新しい三つのポリシーの元で、さらに時代に即した大学となるよう、心新たにスタートを切りました。「建学の精神」を具体化し、学生にとって魅力ある大学であり続けるために、邁進してまいりたいと思っております。

外部評価委員のみなさまからいただいた貴重なご意見・ご助言は、本学の基本理念や使命・目的の更なる実現に向け、今後の教育研究等の改善に役立てる所存です。

ご多用にもかかわらず、本学のために労をいとわずご協力いただいた外部評価委員各位に心より感謝申し上げます。

昨年の4月に、長年本学園の理事、理事長を務めた十文字一夫氏が任期中に逝去いたしました。新理事長に十文字佑子氏が就任するなど、学園にとっても大きな変化の時を迎えております。

外部評価委員のみなさまをはじめ関係の方々には、今後とも本学の運営にご助力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年3月

十文字学園女子大学
学長 志村 二三夫

目 次

I 外部評価委員名簿

II 外部評価委員会による評価

III 参考資料

1. 外部評価委員会規程

2 外部評価委員会議事概要

①第 21 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

②第 22 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

I 外部評価委員名簿

【令和5年度】

氏名	職名	
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長	
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授 国際医療福祉大学 教授	
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長	
イケダ ジュン 池田 純	西松建設株式会社 取締役監査等委員 ソーダニッカ株式会社 取締役	
ササキ マサミネ 佐々木 正峰	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 前理事長 国立科学博物館 顧問、元文化庁長官、本学園顧問	◎
スミヨシ ヒロユキ 住吉 廣行	新潟産業大学 副学長 松本大学 名誉学長・名誉教授	
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 名誉教授 (学校法人藤村学園 評議員)	◇
ハギノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社 代表取締役社長	

※50音順

※◎は座長、◇は座長代理（議事進行）

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和5年4月に委員委嘱を行った。

※職名は令和5年度のもの

【令和6年度】

氏名	職名
イワナガ マサヤ 岩永 雅也	放送大学 学長
オオツカ ユウサク 大塚 雄作	京都大学名誉教授、大学入試センター名誉教授 国際医療福祉大学 教授
カネコ ヒロシ 金子 廣志	新座市教育委員会 教育長
イケダ ジュン 池田 純	ソーダニッカ株式会社 取締役
タナカ ヨウイチ 田中 洋一	東京女子体育大学 名誉教授 元学校法人藤村学園 理事 ◎
ハキノ ゲンジロウ 萩野 源次郎	大和合金株式会社 代表取締役社長

※50音順

※◎は座長

※十文字学園女子大学外部評価委員会規程に基づき、令和6年4月に委員委嘱を行った。

※職名は令和6年度のもの

II 外部評価委員会による評価

(1) 総括

十文字学園女子大学の運営は総じて順調であると評価する。ただし入学定員充足の面ではさらに取り組みを充実させることが望ましい。

(2) 優れた点及び今後期待する事項

- ・学生による学びを生かした主体的な活動が、各分野において充実している。今後は、活動がより可視化され、高校生の進学意欲につながる広報と結びつくことを期待する。
- ・カリキュラム構成の工夫に意欲が見られる。さらに、卒業後の姿についてイメージさせる提示方法など学びの魅力が伝わる工夫に期待する。
- ・就職、進学の実績が堅調といえる。入学時に比して飛躍的な成長と言える卒業生も散見され、全学的に取り組みの成果が出ているものと考えられる。引き続き学生に対する手厚い支援を継続し、結果の検証を行うとともにさらに効果的な活動となることを期待する。
- ・専門分野に関わらずデータサイエンス領域の基礎的な考え方を身につける必要がある。データサイエンスの入門科目を全員に履修させる点は評価できるので、その先の発展的な学びへの接続を期待する。

(3) 参考意見

- ・入学者確保は安定的な経営につながるものであり、ひいては学術研究が安定して行える環境を作ることでもあるので、重視してもらいたい。
- ・入学者募集対策の取組については、広報の側面からの工夫を充実させることを期待したい。特に在学生の活躍や成長のストーリーを効果的に発信するなどの方策が考えられる。学内には魅力ある取り組みが展開されていることから、具体的な事例を用いたPRに効果があるのではないかと期待する。
- ・一つのキャンパスに多彩な領域の学科が集まっているメリットを生かし、さらなる横断的な教育が行われることを期待する。
- ・DXの取り組みは引き続き充実させ、特にGIGAスクールを経験した学生の入学に備える必要があると考えられる。

Ⅲ 参考資料

1. 外部評価委員会規程

十文字学園女子大学外部評価委員会規程

平成25年9月18日規程第138号

平成25年9月18日制定

平成31年4月1日最終改正

(設置)

第1条 十文字学園女子大学（以下「本学」という）に、十文字学園女子大学大学評価規程第3条第一項第三号及び第10条に定める外部評価を実施する機関として、十文字学園女子大学外部評価委員会（以下「委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、本学が実施した自己点検・評価の結果について、妥当性と客観性を高めるため、学外者による検証及び評価を行う他、教員評価や教育研究及び社会貢献活動全般への助言を行う。

(組織)

第3条 委員会は、若干名の委員をもって組織する。

2 委員は本学の設置目的について理解のある学外の学識経験者等から、学長が選考し、委嘱する。

3 学長は、委員を委嘱した場合、委員の氏名・職名等を、速やかに自己点検・評価委員会に通知するとともに、公表する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(外部評価の実施)

第5条 委員は、本学が実施した自己点検・評価の結果を第2条の規定により検証し、優れた点及び改善を要する事項等を意見して、評価を付す。

2 事務局は、前項に定める委員の意見及び評価を外部評価報告書にまとめ、委員会の了承を得なければならない。

3 学長は、前項に定める委員会の了承後、外部評価報告書を自己点検・評価委員会に報告する。

(事務)

第6条 委員会の事務は、企画評価部企画評価課が行う。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、学長が別に定める。

2 各部局が実施した自己点検・評価の結果についての外部評価は、この規程を準用し、部局毎に行う。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改廃は、自己点検・評価委員会の議を経て、教授会に報告しなければならない。

附則

1 この規程は、平成25年9月18日より施行する。

2 第4条の規定にかかわらず、この規程の施行後、最初に委嘱される委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

附則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2. 外部評価委員会議事概要

①第 21 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

日 時：令和 6 年 3 月 15 日（水）14:00～16:25

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：63 名

<外部評価委員> 田中委員（議事進行）、池田委員、岩永委員、大塚委員、住吉委員、萩野委員

<法 人> 岡本法人本部長

<大 学> 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、
今井募集入試担当副学長、小林食品開発学科長、本間事務局長、
井上企画評価部長（司会）、樫本企画評価部次長、
瀬川企画評価課長、鈴木企画評価課員、遠藤企画評価課員

<陪 席 者> 副学長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

冒頭、志村学長より開会の挨拶があった。

1. 第 20 回外部評価委員会議事要旨(案)について

議事進行の田中委員から第 20 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があった。住吉委員から誤字が指摘され、修正することで承認された。

2. 令和 4 年度外部評価報告書（案）について

議事進行の田中委員から令和 4 年度外部評価報告書（案）について確認があった。池田委員から語句の修正が提案され、承認された。

3. 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の自己点検について

安達副学長から、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度の自己点検について説明があった。続けて、意見交換を行った。

4. 食品開発学科（令和 2 年度設置）に係る教育研究活動等の状況について

小林食品開発学科長から食品開発学科（令和 2 年度設置）に係る教育研究活動等の状況について説明があった。続けて、意見交換を行った。

退任予定の委員から挨拶があった後、岡本法人本部長より謝辞があった。最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上

②第 22 回十文字学園女子大学外部評価委員会 議事概要

日 時：令和 6 年 9 月 5 日（水）14:00～16:25

場 所：7 号館 6 階会議室および Zoom ウェビナーでの開催

出席者：68 名

<外部評価委員> 田中委員（座長）、池田委員、岩永委員、大塚委員、金子委員、萩野委員

<法 人> 十文字理事長、岡本法人本部長、長澤法人本部長補佐

<大 学> 志村学長、綿井副学長兼学長補佐、安達教育担当副学長、
今井募集入試担当副学長、川瀬社会情報デザイン学科長、
本間事務局長、井上企画評価部長（司会）、樫本企画評価部次長、
瀬川企画評価課長、鈴木企画評価課員、遠藤企画評価課員

<陪 席 者> 副学長、学科長、自己点検・評価委員、事務局の部長・次長 他

（以下、敬称略）

冒頭、十文字佑子新理事長から挨拶があり、志村学長より開会の挨拶があった。

また、本会議の座長を田中委員とし、議事進行を担当願うこととした。

1. 第 21 回外部評価委員会議事要旨（案）について

議長から第 21 回外部評価委員会議事要旨（案）について確認があり、全員異議なく承認された。

2. 令和 5 年度 自己点検・評価報告書（案）について

綿井副学長から令和 5 年度自己点検・評価報告書（案）について説明があった。続けて、意見交換を行った。

3. 社会情報デザイン学科（令和 2 年度設置）に係る教育研究活動等の状況について

川瀬社会情報デザイン学科長から、社会情報デザイン学科（令和 2 年度設置）に係る教育研究活動等の状況について説明があった。続けて、意見交換を行った。

最後に事務局から次回の委員会についての事務連絡があり、閉会となった。

以上